



第42回 東京弦月会同窓会・総会のご案内

- 日 時● 令和8年8月22日(土) 11時:受付開始 12:00～15:00
- 会 場● ホテル グランドアーク半蔵門 富士の間 電話03-3288-0111
- 参加費● 一 般 懇親会費:¥13,000 維持協力金:¥2,000
特 割 懇親会費:¥ 2,000 維持協力金:¥2,000 67回生(平成27年卒)以降の方
学 生 懇親会費:無 料 現在、専門学校・短大・大学・大学院に在籍中の方

ごあいさつ

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます
伝統ある東京弦月会・総会も今年で42回目を迎えます
本会が宮崎大宮での3年間を存分に回顧していただく場となり、
目まぐるしく変化する大都会東京で懸命に日々を過ごされる皆さまにとって
心安らぐひとときとなれば幸いです
今年のスローガンは “つながる→つなげる” となっております
70回生幹事の運営で成功をおさめた昨年の会によって
皆さまとの「つながり」を得られた私が、
今年皆さまを「つなげる」役目を務めることとなりました
本会を通して、同期との再会はもちろん、先輩・後輩との新たな縁が生まれ、
さらに東京に流れる宮崎大宮の命脈を次代へとつなげる契機となれば、
これ以上の喜びはございません。
ご多忙のことと存じますが、万障繰り合わせの上ご参加くださいますよう
心よりお待ちしております

敬具

令和8年7月吉日

実行委員長 棚 町 太 陽 (68回生)

①出欠のご連絡は、**7月31日(金)**までに

- 出欠のご返事を学年幹事に、メール・FAX・電話等で、7月31日(金)までにお願いいたします。
- 東京弦月会事務局のメールでも受付けます。【事務局】 gengetsu@intervillage.co.jp

②参加費のお振込みは、**8月12日(水)**までに

- ◆令和5年度より、参加費は事前振込みになりました。
- ◆お振込みの確認が取れた時点で出席が確定します。

出席される方

- 一般の方は、懇親会費¥13,000及び維持協力金¥2,000合計¥15,000をお振込みください。
すでに、本年度の維持協力金を納められている方は、**懇親会費¥13,000のみ**お振込みください。
- 67回生(平成27年卒)以降の方は、**懇親会費¥2,000及び維持協力金¥2,000、合計¥4,000**をお振込みください。

※振込手数料は各自でご負担下さるようお願いいたします。なお、納入後に同窓会・総会を欠席されても、懇親会費・維持協力金ともに**返金いたしません**のでご了承ください。

- 学生の方は、今回お振込みは不要となりますが、お座席とお食事のご用意の関係上、必ず事務局へ出席のご連絡をお願いします。

欠席される方

- 維持協力金¥2,000を振込にてお納め願います。

お振込みは以下の口座をお願いします

- ゆうちょ銀行にてお振込みいただく方

ゆうちょ銀行 00190-7-407032『東京弦月会』

- 他銀行ATM、ネットバンキングをご利用の方

銀行名：ゆうちょ銀行

金融機関番号：9900

店番号：019

預金種目：当座

店名(支店名)：〇一九店(ゼロイチキュウテン) 口座番号：0407032 → (東京弦月会)

◆お名前の後に、必ず、回生の入力をお願いします⇒例:ゲンゲツタロウ 39カイセイ

【維持協力金振込のお願い】

維持協力金は、ホームページの製作、同窓会・総会関係の資料・冊子等の作成・印刷、郵送等に用いられております。つきましては、維持協力金の振込みをお願い申し上げます。

○維持協力金 2,000円(1年間)

○維持協力金は年間を通じて受け付けております。

※諸物価高騰の折柄、振込手数料をご負担いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

東京弦月会ホームページ「維持協力金振込みのお願い」をご参照ください。

<http://www.gengetsu.ne.jp/>

※お問合せは、学年幹事または事務局へ gengetsu@intervillage.co.jp

アトラクションのご案内

大宮のサラダボウル



宮崎大宮高校には、世代を超えて受け継がれてきた歴史と伝統があります。

しかし、その時代ごとに学校の風景や流行、行事、思い出は少しずつ異なります。

「**大宮のサラダボウル**」では、卒業回生の枠を越え、さまざまな世代の同窓生が同じテーブルに集まります。そして、各時代の大宮高校にまつわるクイズに挑戦しながら、それぞれの青春の思い出や学校生活を語り合ってください。

異なる具材がそれぞれの個性を保ちながら一つのサラダを彩るように、多様な世代の卒業生が交流することで、新たな発見や懐かしい共感が生まれるはずです。

先輩から後輩へ、後輩から先輩へ。

世代を超えた「つながり」を広げながら、東京に流れる宮崎大宮の命脈をともに感じるひとときをお楽しみください。

68回生プロデュース

